

【施設状況】

グループ名称	篠ノ井中央公園、茶臼山自然植物園、茶臼山公園（植物園口駐車場）							
指定管理者名	一般財団法人 ながの緑育協会				法人番号	9100005011552		
所管課	主	202500	公園緑地課	副				
構成施設	2836	篠ノ井中央公園						
		茶臼山自然植物園						
	2840	茶臼山公園(植物園口駐車場)						
施設分類	04	レクリエーション型	施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	01	代行制
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・篠ノ井中央公園（管理棟、トイレ棟、遊具等） ・茶臼山自然植物園（上部）（管理棟、四阿、トイレ棟、遊具等） ・茶臼山公園（植物園口駐車場） 							
施設設置目的	市民の憩いの場及び交流の拠点として設置。また、篠ノ井中央公園は本市の「緑育の拠点」、茶臼山自然植物園（上部）は「緑育実践の場」として位置づけている。							
基本方針等	緑育を通じて長野の美しい自然を守り、緑を大切にす文化や人を育て、人と人をつなげられるように、当該公園が緑育の拠点及び緑育の実践の場として相応しい適切な維持管理を行う。 あわせて指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、市民が足を運びたいと考える施設となり、利用者が世代を越えて交流のできる、地域に根ざした施設となることを目指す。							
主な実施事業	管理棟、トイレ棟、遊具、四阿、駐車場、植栽等の維持管理							

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	一般財団法人 ながの緑育協会	指定回数	1 回
指定期間	平成28年4月1日 ~ 令和3年3月31日	5年	管理運営開始日 平成28年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。		評価 3
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)	市が示した基本方針に基づき、適切な管理運営ができています。財政状況や組織体制も特に問題ない。	

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	H27	H28	H29	H30	対前年比	評価
	篠ノ井中央公園	人		53,604	64,817	63,990	99%	
	茶臼山自然植物園	人		14,848	22,269	19,302	87%	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
(特記事項) ホームページにより施設の利用案内等の情報を発信するほか、スタッフブログやインスタグラムを頻繁に更新し、タイムリーな情報提供に努めた。篠ノ井中央公園の遊具(ふわふわドーム)は利用者が多いため、特に天候に応じた管理を徹底し、利用できる時間を増やす努力をした。								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・植栽管理(剪定・刈り込み、施肥、除草、花苗管理、病害虫駆除) ・施設の維持管理および軽微な修繕の実施 ・日常的な巡視、遊具等の点検の実施 ・専門業者等による施設・設備等定期点検の実施 						
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・就業体験の受け入れ(6/6~8日、更級農業高校生徒3名)・各種団体との共催による展示会、園芸教室等の開催(5/18~20日春の山野草~草物盆栽展、9/22秋咲きの洋欄展、1/27~2/3新春洋欄展、3/1~3/3クリスマスローズ展、3/16~3/17春蘭展、各展示会で園芸教室を実施)・各種団体との共催によるイベントの開催(5/27かいぶつたねフェスティバル、6/24世界と地域を結ぶ花の架け橋)・ボランティア登録者と園内除草、花壇の手入れなどの緑化活動(年27回開催、延べ880人の参加)・花門松の製作、販売・篠ノ井中央公園、茶臼山自然植物園に観察や見学に来る団体に対して、園内の案内や植栽の説明、緑育ワークショップなどの体験実施(述べ131人の受け入れ) 						
サービス維持・向上の取組み(広報等)	<ul style="list-style-type: none"> ・緑育イベントの開催内容を管理事務所に提示するなど、来場者に迅速に情報を提供できるようにしている。 ・管理棟を授乳室として利用できる旨の周知を図り、サービス向上に努めている。 ・「第36回全国都市緑化信州フェア」の一環として県内の花や緑を楽しめるスポットを登録する「信州グリーンシェアスポット」に両公園が登録され、公式ホームページで紹介された。 							

3

3 利用者評価

区分	内容		評価
	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	
(2) 調査、会議等の内容		<ul style="list-style-type: none"> ・公園利用者の要望、意見を把握するため、ながの緑育協会のホームページにアンケートページを設置したが、1件の回答だった。 ・各管理棟に利用者アンケートを設置するとともに、イベント開催時や展示会で用紙を配布し、利用者の要望把握に努めた。 ・月に1~2回、スタッフ全員による全体会議を行い、課題を把握するとともに対応方針を検討しながら改善を図った。 	
利用者からの評価・苦情等	(3) 調査、会議等の結果	全体会議では、スタッフから各種講座やイベント参加者の声や巡回中に聞いた市民の声を随時報告してもらっている。 <利用者アンケートの内容、要望等> ・公園利用の目的・・・園芸教室、各種講座等に参加、遊具広場、芝生広場遊び、草花などの観賞、散歩、くつろぎ ・行ってほしいイベントや教室・・・ハーブの育成、収穫に関する講座、正月飾り、角松等の教室 ・公園にあればよいサービス・・・日除け、雨除け、風除けができるスペース、休憩所、花苗の販売コーナー(常時)、管理棟に休憩スペースがほしい 樹木版、花に名前のラベルを付けてほしい。	
	(1) 良好とする評価	<ul style="list-style-type: none"> ・樹木や花壇がとてもきれいに管理されている。 ・景色が良く、小路も整備されているので散歩するにはとても良い。 ・健康的で明るい雰囲気が良い。 ・利用者が増え、若者の利用者が多くなった。 ・施設がきれいに管理されている。特にトイレの清掃状態が良い。 ・スタッフが親切で親しみやすい。 	
利用者からの評価・苦情等	(2) 苦情・改善等の要望事項	<ul style="list-style-type: none"> ・風除けがないため、強風時には危険である。 ・犬の散歩ができるエリアをもっと増やしてほしい。 ・公園の全ての花や樹木に名前を付けてほしい。 ・ふわふわドームを目的に行ったが、閉鎖中だった。天気が良くても冬季間は閉鎖する表示を目立つ所に出してほしい。 ・茶臼山自然植物園へ行ったが、使用禁止のアスレチックが多くて残念だった。 	
	<<対応措置>>	<ul style="list-style-type: none"> ・犬の散歩エリア拡大については、花壇や植栽を傷つけないために飼い主のマナーの徹底、また犬嫌いの公園利用者への対応等、課題解決に向けた検討が必要である。 ・樹木名版や花のネームプレートについては、順次設置している。篠ノ井中央公園の樹木の名版付けは、ほぼ完了した。 ・ふわふわドームの冬季閉鎖については、毎年3月中旬までとしているが、当該年の天気の状況により期間は前後する。その都度状況を確認し、ドーム入口のフェンスに閉鎖期間のお知らせを表示して利用者への周知に努めている。 ・茶臼山自然植物園のアスレチック遊具については、使用禁止であったものを全て撤去及び修繕し、対応済みである。 	

3

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成30年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成30年度決算		平成29年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金		利用料金		歳入	使用料		使用料	
	指定管理料	45,000,000	指定管理料	45,000,000		雑（納付金）		雑（納付金）	
	委託料		委託料		行政財産 目的外使用料		行政財産 目的外使用料		
	販売収入等		販売収入等		貸付料		貸付料		
	その他収入	504,000	その他収入	546,930	その他		その他		
	計	45,504,000	計	45,546,930	計	0	計	0	
支出	人件費	13,550,000	人件費	12,673,403	歳出	指定管理料	45,000,000	指定管理料	50,500,000
	設備管理費	698,000	設備管理費	611,115		委託料		委託料	
	備品購入費	1,950,000	備品購入費	2,509,952	需用費		需用費		
	修繕費	400,000	修繕費	326,182	役務費		役務費		
	光熱水費	1,974,000	光熱水費	1,961,793	使用料・賃借料		使用料・賃借料		
	事業費	23,210,000	事業費	22,396,230	修繕費		修繕費		
	事務経費	1,572,000	事務経費	1,465,250	工事請負費		工事請負費		
	本社経費		本社経費		備品購入費		備品購入費		
	その他	2,150,000	その他	2,138,446	その他		その他		
	計	45,504,000	計	44,082,371	計	45,000,000	計	50,500,000	
自主事業	収入		収入	35,100					
	支出		支出	19,198					
	自主事業損益	0	自主事業損益	15,902					
損益		0		1,480,461	差引	-45,000,000		-50,500,000	
人件費比率【人件費（賃金等）／平成30年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）								28.7%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか 配置実績 (うち市内雇用職員数) 派遣職員1名、正規職員2名（緑育担当）、臨時職員6名（緑育担当2名、指定管理4名）、パート職員2名（指定管理） 計11名（うち市内雇用者11名） 事務局長1名（臨時）、事務局次長1名（派遣）、施設長1名（臨時：指定管理）、緑育担当3名（正規2名、臨時1名）指定管理5名（臨時3名、パート2名）	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		3
	<ul style="list-style-type: none"> ・腐葉土100袋を長野養護学校から購入した。また、市と共催した秋の緑育フェスタでは、障害者就労施設に出店してもらい、相互の連携を図った。 ・地元企業や地元住民自治協議会の主催するイベント（茶臼山フェスティバル、下水道ふれあいデー等）に参加することで地域との連携を図った。 ・長野県更級農業高校の就業体験として生徒を受け入れ、協力体制を築いている。 		

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	3	12	
事業収支	3	12	
管理運営全般	4	8	
危機管理体制	3	6	
地域連携	3	6	
合計得点			

評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の管理運営方針に則し、植栽管理や清掃による美観の維持に努めるとともに、公園利用者が安心、安全、快適に過ごせる環境づくりに努めた。 ・利用者アンケートにおいても、施設等の管理状況について、「満足」との回答が多く寄せられていた。 ・職員の意識とスキルを高めるため、公園管理技術の向上を目的とした研修、講習会の受講及び資格取得の促進に努めたところ、職員1名が「公園運営管理士」の資格を取得し、業務に活かすことができた。 ・園内の管理作業について安全に配慮し、倒木等の処理には出来る限り職員が協力して処理にあたるなど、経費節減に努め、業務の効率を図ることができた。
------	--

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等 (改善されていない場合)
	<ul style="list-style-type: none"> ・篠ノ井中央公園の植栽帯の土が悪く、なかなか樹木が大きくなる。 ・茶臼山自然植物園の藤棚、アスレチックの老朽化により集客施設としての今後の活用が懸念される。 ・水景施設の水位調整に苦慮している。井戸水汲み上げポンプの故障が多く、園内の灌水業務にも支障を来している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・茶臼山自然植物園の藤棚は、平成29～30年度に一部（全長300mのうち約120m）更新しており、今後も更新を進める。アスレチックについては、使用禁止であったものを撤去及び修繕した。 ・水景施設の井戸水汲み上げポンプは、随時職員が作動確認を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・篠ノ井中央公園の植栽帯については、今後抜本的な土壌改良を含めて検討が必要である。 ・茶臼山自然植物園のアスレチックについては、修繕等対応済みだが、今後も集客施設として新設、更新も含めた検討は必要である。 ・水景施設の井戸水汲み上げポンプは、点検を行い、必要に応じて修繕する。

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降も「緑育」をキーワードとした特色ある公園運営に努め、両公園の知名度向上と利用促進を図っていくとともに、利用者がより安全に安心して過ごせる質の高い公園管理を行っていく。 ・引き続き職員の資格取得促進や遊具の安全講習会等、運営管理に関する研修会等への積極的な参加を促し、ノウハウの蓄積に努めていく。 ・茶臼山自然植物園（緑育センター）を会場としたイベントを企画し、施設の有効活用に努めていく。
---------------------	--

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

ア 利用案内の充実

公園利用に際しての注意事項や遊具などの利用案内、イベント情報などをホームページに掲載し随時更新すると共に、掲示板への掲示、簡易看板の設置などにより周知しています。また、スタッフブログ、インスタグラムを頻繁に更新し、タイムリーな情報提供に努めています。その他、たばこのポイ捨てやバイクの乗り入れを禁止する注意喚起看板を設置するなど利用者が安全で快適に公園利用ができるよう取り組んでいます。

イ アンケートなどによる利用者の要望把握

緑育協会のホームページに公園への要望・意見をいただくアンケートページを設けています。また各管理棟に利用者アンケートを設置するとともに、イベント開催時、展示会などでも、利用者の要望把握や聞き取りを行い、業務改善、サービス向上に努めています。

ウ 魅力ある植栽の実施

篠ノ井中央公園の園内の花壇や園路沿いには1年草を中心に季節に応じた植栽を行うと共に、珍しい品種を植栽するなど来場者楽しんでいただけるよう工夫しています。

② 業務の効率化に対する取組み

ア セルフモニタリングについて

毎日、園内及び駐車場の巡回、清掃を実施し、作業日報に記録および決裁することにより日常的に管理実態を把握しています。また、月に1～2回、スタッフ全員による全体会議を実施し、課題について話し合うとともに対応方針を検討し、情報の共有と現況の改善を常に図っています。

イ 経費縮減

園内の管理作業については、除草剤、抑制剤などを適切かつ安全に配慮しながら利用することにより、人員の削減に努めるほか、倒木等の処理についても出来る限り職員が協力して処理にあたるなど、常に経費縮減に留意しながら業務の効率化を図っています。

ウ 職員の意識・能力の向上

今年度、職員の1名が「公園運営管理士」の資格を取得し業務に活かしています。また、公園管理技術の向上を目的とした研修・講習会の受講、資格取得の促進など職員の意識とスキルを高め、業務の効率の向上に努めています。

③ その他

ア 市民ボランティアとの協働による公園管理

市民ボランティア「緑育倶楽部」の皆さんに篠ノ井中央公園、茶臼山自然植物園における花壇づくりや花苗の定植、除草などの緑化活動に携わっていただき、市民参加による公園づくりを実施しています（今年度は27回実施、延べ880人の参加）。

イ 地元地域や緑や花に関する団体との共催イベントの実施

花や緑に関する団体等と共催で講演会や展示会を開催し、施設の有効利用と連携に努めています。また、公園で実施される地元企業や団体等のイベントに積極的に協力することで交流・連携を図っています。

ウ 両公園の知名度向上

「第36回全国都市緑化信州フェア」の一環として、長野県内の花や緑を楽しめるスポットを登録する「信州グリーンシェアスポット」に篠ノ井中央公園と茶臼山自然植物園が登録され、公式ホームページ等で紹介されました。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

ア 水景施設の管理

篠ノ井中央公園の水景施設にホタルを生息させようと地元の方々が取り組んでいますが、水路の水がどこからか抜けており、水位の調整に苦慮しています。また、供給源である井戸水汲み上げポンプ自体も故障が多く、園内の渇水と併せて業務に支障が出ているため改善が必要です。

イ 公園利用者のマナー向上

トイレや施設の器物損害など悪質な行為に対しては、警察に通報するとともにパトロールを強化してもらうなどしていますが、有効な予防策がないのが現状です。また、犬の散歩の利用者が増えてきており、飼い主のマナー、トラブルが懸念されます。

ウ 適切な植栽管理

茶臼山自然植物園は巨木、古木も多いことから、日常的な巡回点検による危険箇所の把握を速やかに行うとともに、倒木や枯れ枝の落下事故などを未然に防ぐための大規模な剪定や迅速な撤去等、適切な植栽管理が課題となっています。

(3) 総合評価

評価基準（計画＝事業計画）

【A】計画や目標を大きく上回る

【B】計画や目標を上回る

【C】計画や目標どおり

【D】計画や目標を下回る

【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

緑育推進事業と一体となった公園運営を実施したことにより、施設の有効利用を図ることができたと考えています。また、施設の管理に関しても適正な管理をおこない、利用者への質の高い、安全かつ快適なサービスを提供できたと考えています。しかし、その一方で茶臼山自然植物園の自然環境を活かしたイベントや利用プログラムを十分に提供できなかったことから、概ね、計画や目標どおり業務遂行できたと自己評価しました。

② 次年度以降の取組み

ア 知名度の向上と利用促進

引き続き、「緑育」をキーワードとした特色ある公園運営に努め、両公園の知名度向上と利用促進を図っていきます。特に、茶臼山自然植物園の緑育センターの有効活用に努めます。

イ 公園運営管理の充実

スタッフの資格取得促進や遊具の安全講習会など運営管理に関する研修や講習会に積極的に参加することにより、ノウハウを蓄積するとともに質の高い公園運営管理に努めます。また、自主事業などにおける講師の育成にも力を入れていきます。

ウ 公園内の環境整備

公園内の樹木や草花に出来る限り樹木名版やネームプレートを設置します。また、利用者楽しんでいただくよう、園内の通路沿いや花壇に季節に合わせた植栽をおこない、「緑育」の拠点、実践の場にふさわしい環境を整えます。